

校旗作成に係る背景色（スクールカラー）についての協議概要
（令和7年度第6回総務部会記録より）

事務局から、過去に実施したアンケートでは青系・緑系を希望する意見が多かったことから、青・紺・緑・青緑のサンプルを作成したこと、また校章のモチーフであるサツキの花にちなみ、作者からピンク系の提案もあったことを説明。あわせて、校章の配色について、花びら部分を金色とする従来案と、「勝山」の文字部分を金色として目立たせる反転案の2種類を提示

協議で出された意見は以下の通り。

- ・「勝山」の文字が強調される反転案の方が見やすく、校旗としても映える。
- ・校章や校旗では「勝山」の文字を金色で表現した方が重厚感や格式が感じられる。
- ・ピンクは校旗の色としては軽い印象があり、学校のイメージには合わないのではないか。
- ・青緑は見づらく、発光色のように感じられるため不向きではないか。
- ・青や緑を基調とする案が望ましいが、明るすぎる色よりも深みのある落ち着いた色がよい。
- ・青は九頭竜川やネクタイの色との関連性があり、統一感がある。
- ・緑は勝山の豊かな自然や四季を表現でき、現在の学校で使用していない緑も良いのではないか。
- ・校旗作成時には花びら部分だけ別色とするなど、多色使いの可能性も検討してはどうか。

協議の結果、この場で色を決定するのではなく、「反転案を基本とし、重厚感のある濃い青系・緑系を中心に検討する」という方向性が概ね共有された。事務局は今回の意見を踏まえ、次回の準備委員会でより具体的な校旗デザイン案や色彩案を提示することとなった。